

25年3月期 第3四半期 連結業績について

執行役員 常務
岡 恭彦

2025年 1月31日

25年3月期 第3四半期連結業績

- 業績概要(PL・受注高・受注残高)
- 業績概要 第3四半期期間(PL・受注高・受注残高)
- 売上高の増減
- (参考)中計基本戦略2の進捗状況
- 営業利益の増減分析
- 受注高・受注残高の増減
- セグメント別業績(売上高・営業利益・営業利益率)
- セグメント別業績(受注高・受注残高)
- セグメント別業績 増減分析
- 通期 業績・配当予想
- 決算のポイント

Appendix

- 25年3月期 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)
- 25年3月期 業種別売上高
- ネットワンシステムズ(株)の連結子会社化に伴う資金調達について

25年3月期 業績概要(PL・受注高・受注残高)

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額	増減率
売上高	351,363	384,840	33,476	9.5%
売上総利益	92,707	102,564	9,857	10.6%
売上総利益率	26.4%	26.7%	0.3%	
販売管理費	△ 51,698	△ 59,139	△ 7,440	14.4%
その他収益及び費用	△ 20	△ 530	△ 510	
営業利益	40,988	42,894	1,906	4.7%
営業利益率	11.7%	11.1%	△0.5%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	28,335	29,798	1,462	5.2%
受注高	330,290	370,190	39,900	12.1%
受注残高	162,097	* 282,412	120,314	74.2%

※内ネットワンシステムズ(株)残高加算分:109,481百万円

25年3月期 業績概要(PL・受注高・受注残高) 第3四半期期間



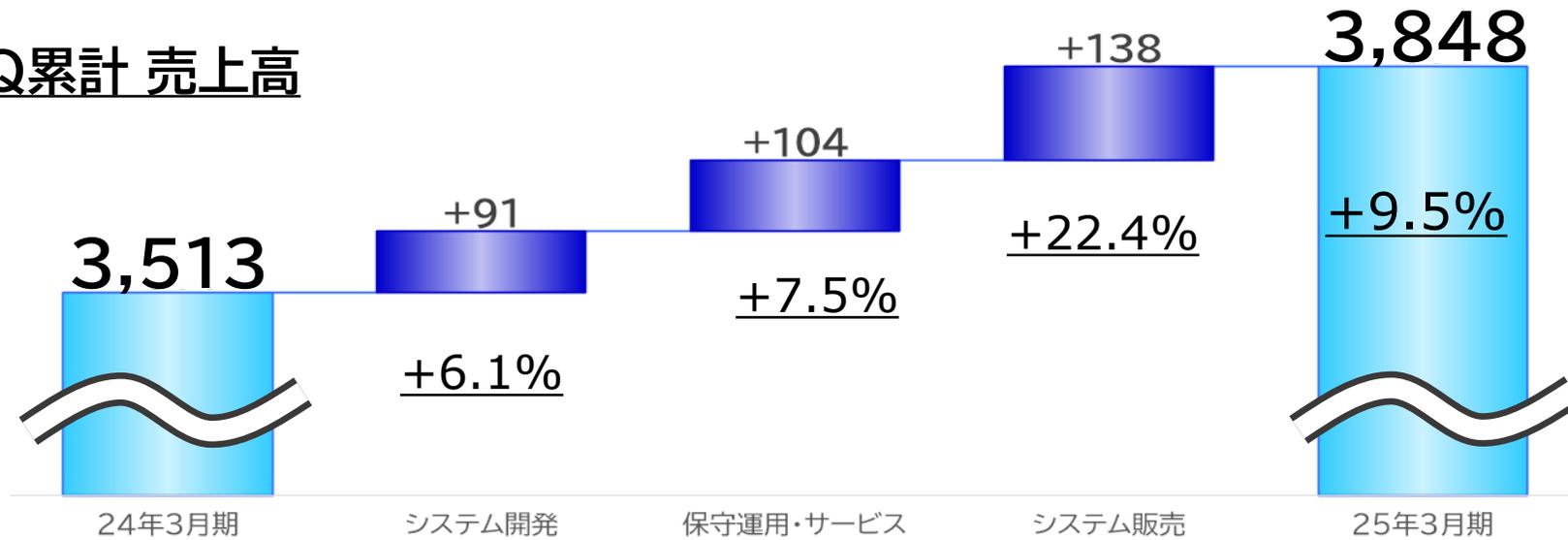
(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額	増減率
売上高	120,167	133,316	13,149	10.9%
売上総利益	31,483	36,695	5,211	16.6%
売上総利益率	26.2%	27.5%	1.3%	
販売管理費	△ 17,492	△ 20,749	△ 3,256	18.6%
その他収益及び費用	70	△ 10	△ 81	
営業利益	14,062	15,936	1,874	13.3%
営業利益率	11.7%	12.0%	0.3%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	9,867	10,560	693	7.0%
受注高	106,349	122,310	15,961	15.0%
受注残高	162,097	*282,412	120,314	74.2%

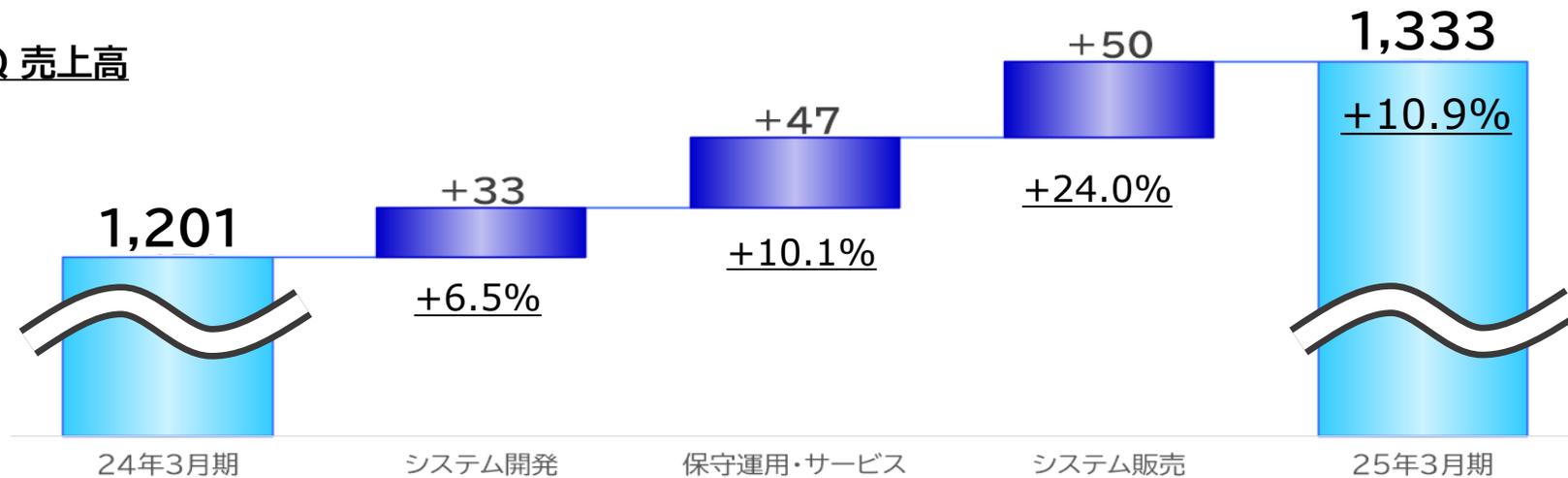
※内ネットワンシステムズ(株)残高加算分:109,481百万円

(単位:億円)

3Q累計売上高



3Q売上高



< 基本戦略2 >

成長市場において、市場をリードする事業を推進

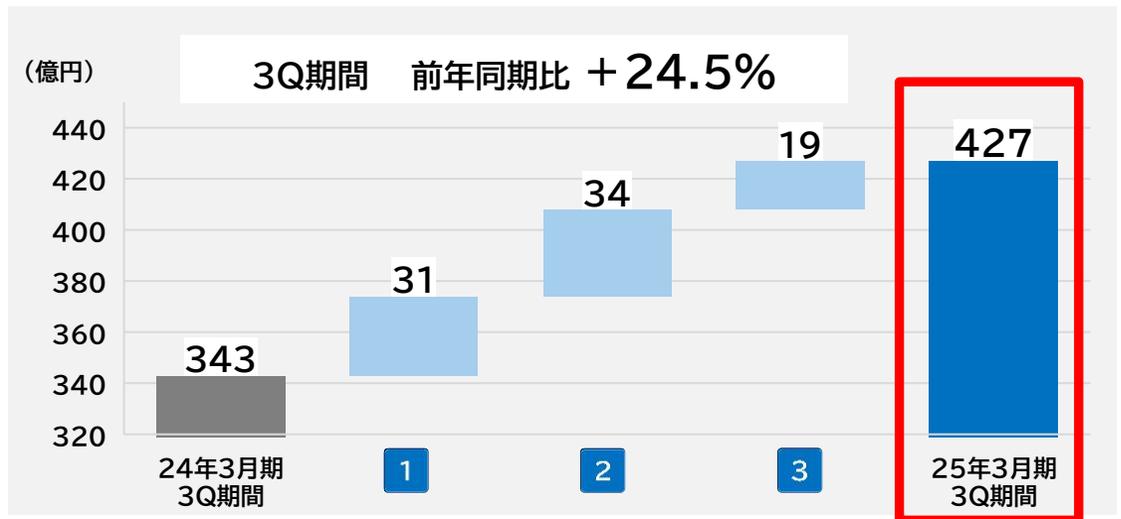
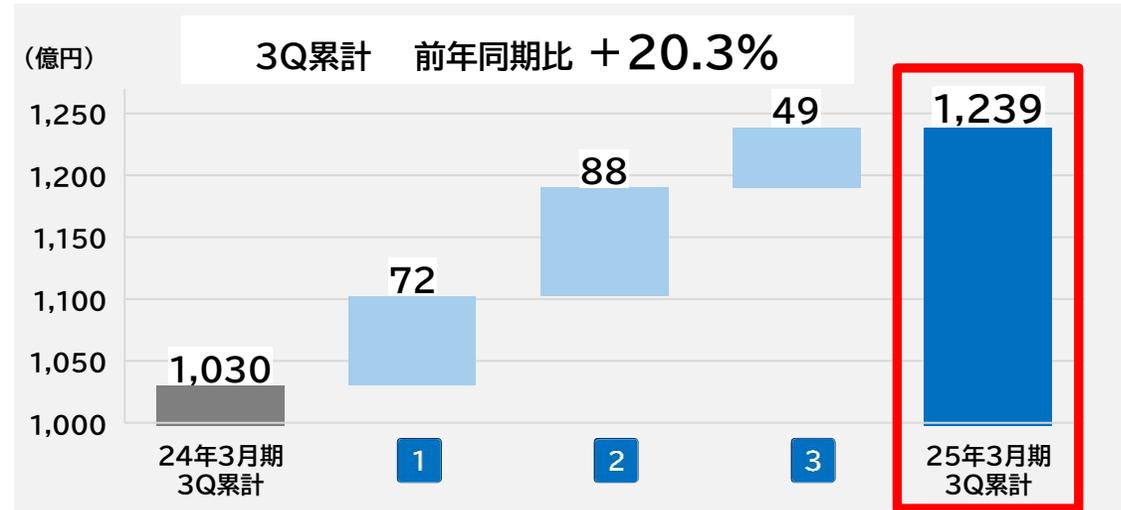
- 1 社会・顧客課題解決に向けたモダナイゼーションサービス**
 - ・ 製造領域 (デジタルサプライチェーン、atWill)
 - ・ 金融領域 (AML、ウェルスマネジメント)
 - ・ 中堅企業データドリブン経営支援 (ProActive)
 - ・ BPM (ビジネスプロセスモダナイゼーション)
- 2 新しい価値創造に向けたイノベーションサービス**
 - ・ ヘルスケア (医療分野向けデジタル業務改革支援)
 - ・ モビリティ (SDM時代をリードするモビリティソフトウェア開発)
- 3 社会のデジタル化を支えるインテグレーションサービス**
 - ・ セキュリティ
 - ・ データインテグレーション
 - ・ クラウドインテグレーション

↕

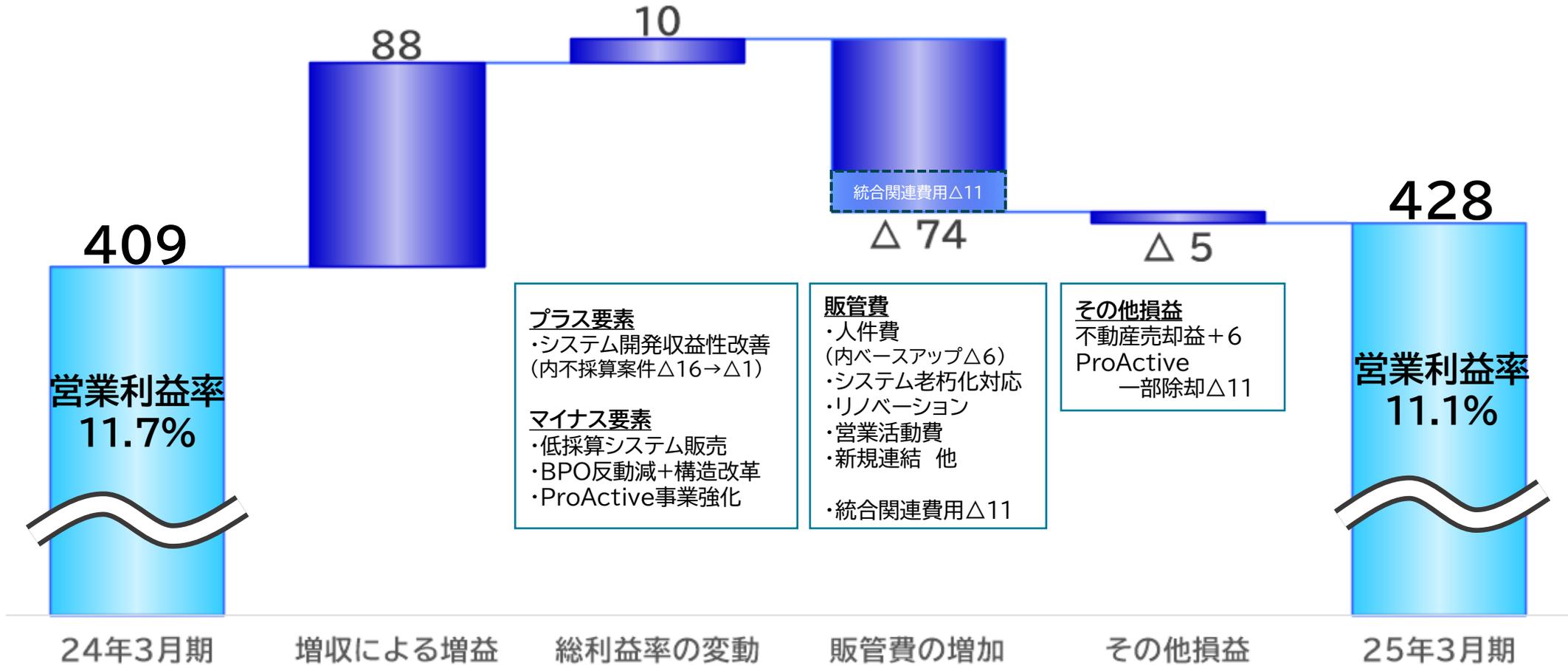
デジタル化の潮流を捉えるマーケットエクспанション

- ・ グローバル (エマージングマーケットでのデジタル改革)

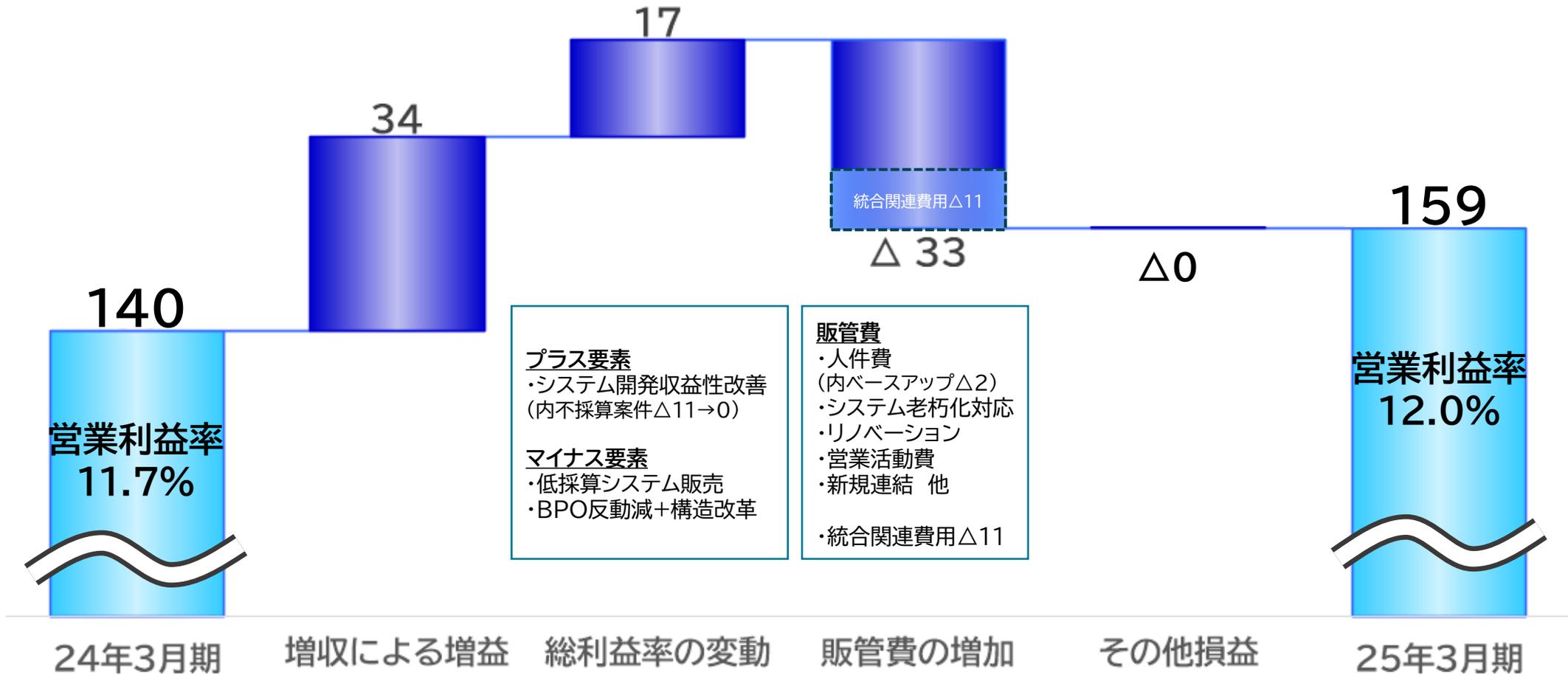
売上規模の推移



(単位:億円)



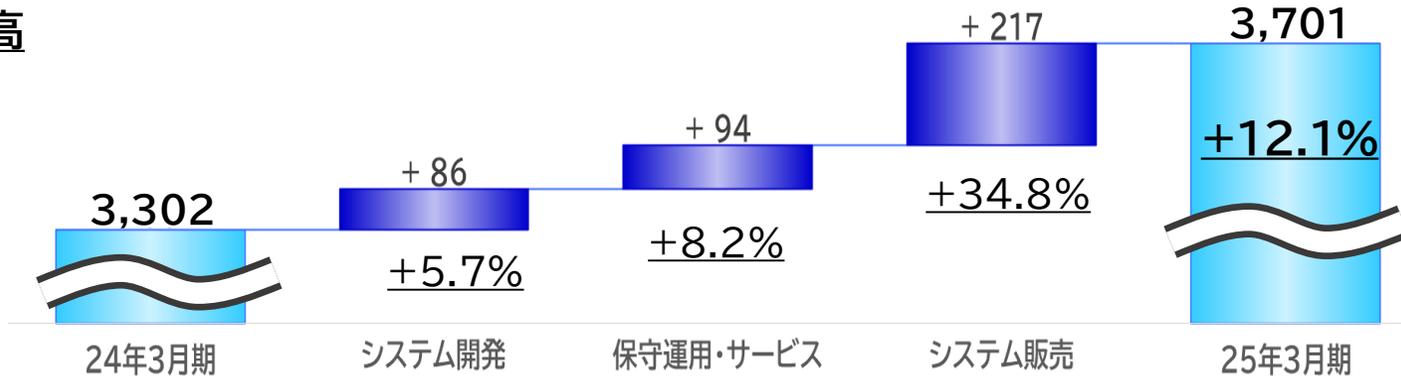
(単位:億円)



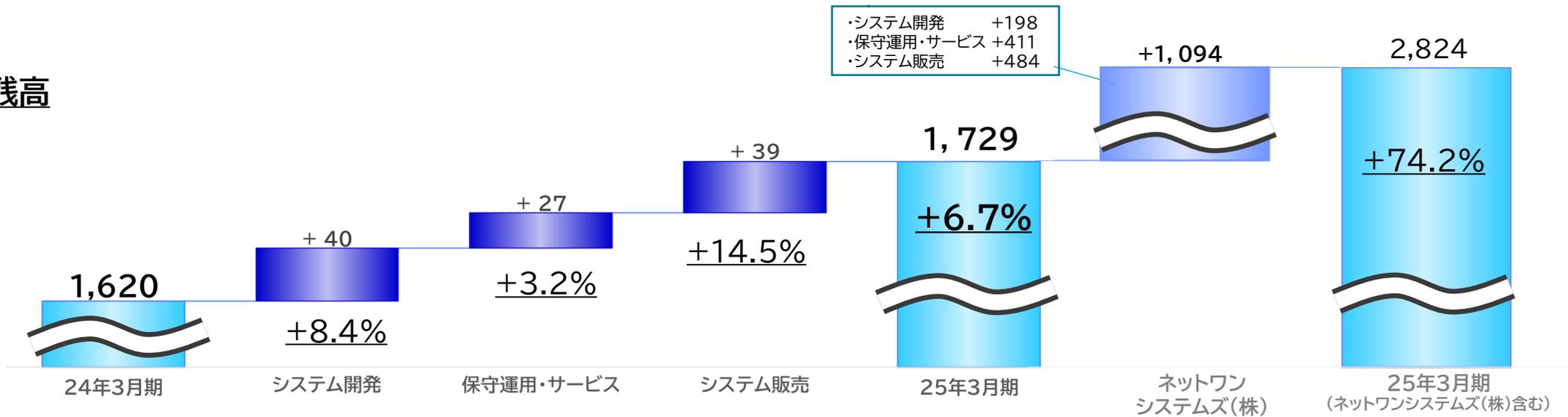
25年3月期 第3四半期決算 受注高・受注残高の増減

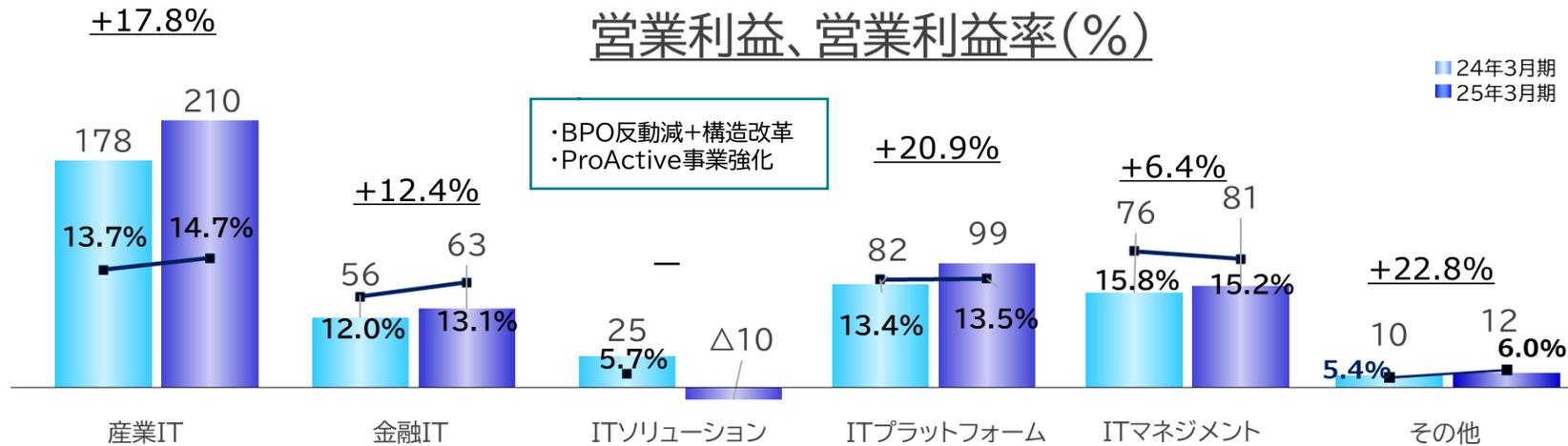
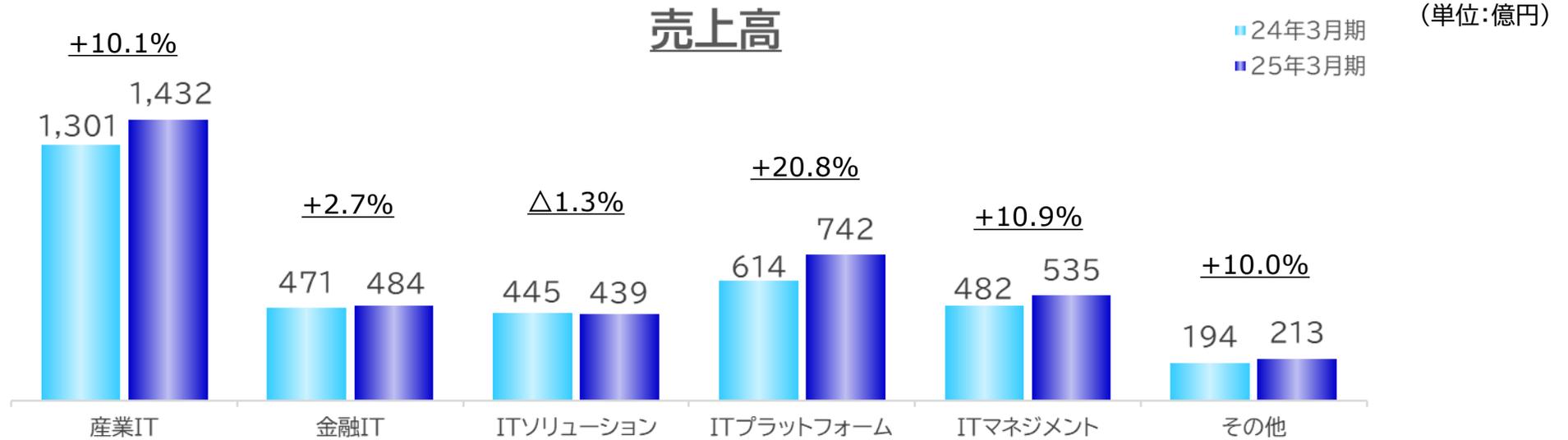
(単位:億円)

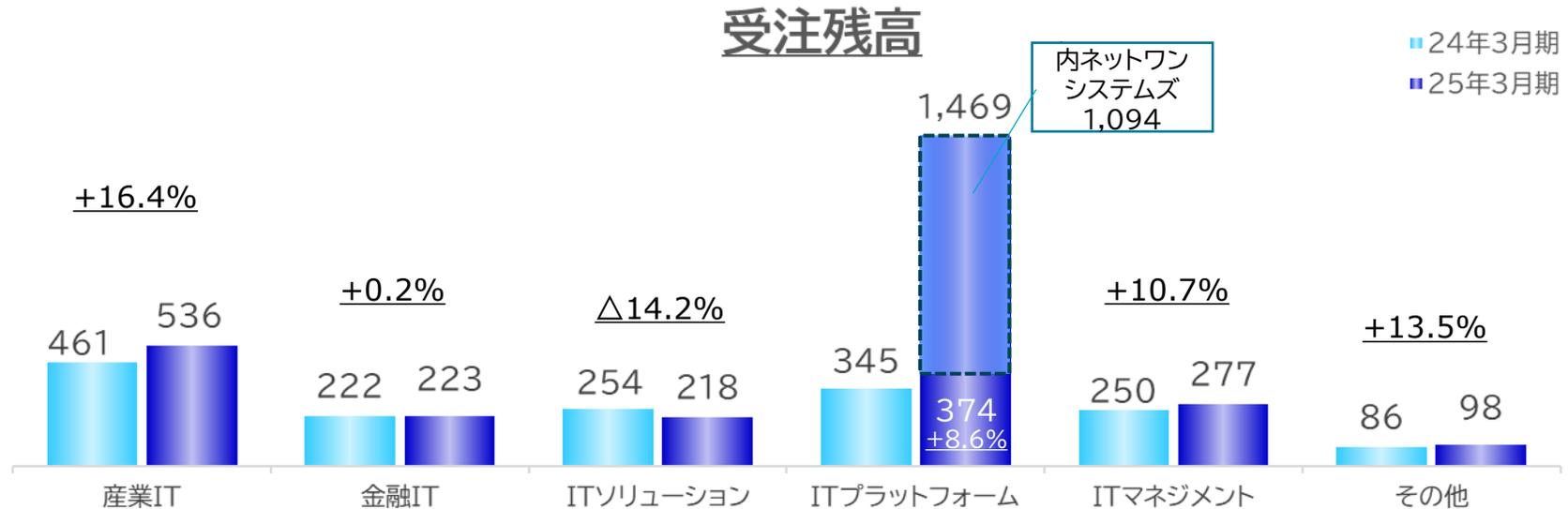
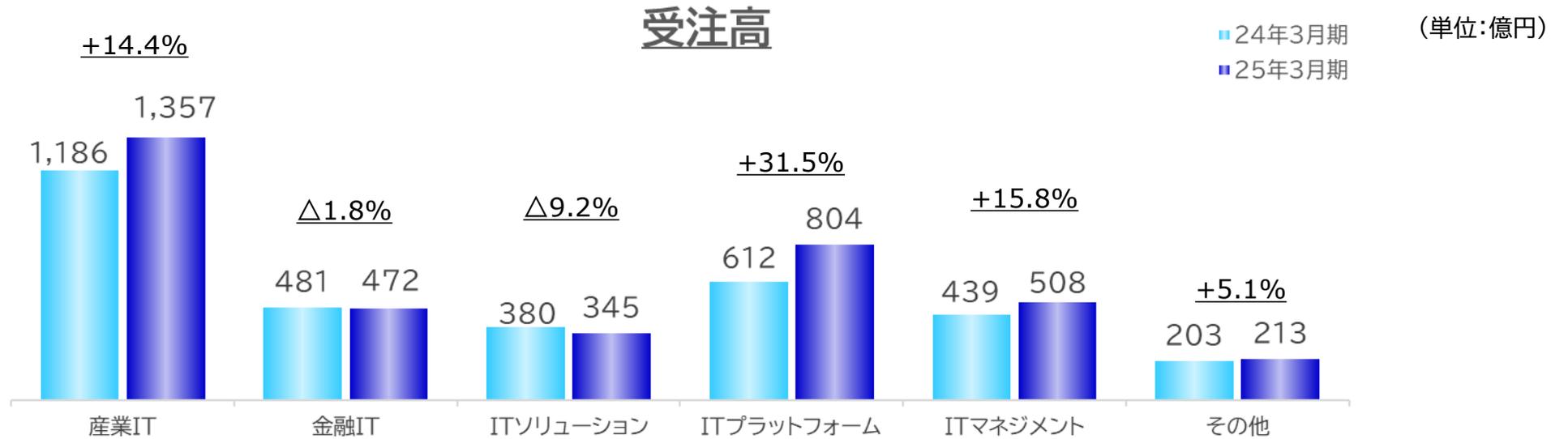
受注高



受注残高







セグメント	売上高	営業利益	受注高・受注残高
産業IT	(+)デジタルサプライチェーン案件の増加 (+)自動車業向け戦略的投資需要 (+)検証サービス拡大 (-)流通業向け案件の減少	(+)デジタルサプライチェーン案件の増加 (+)自動車業向け案件の寄与 (-)流通業向け案件の減少 (+)不採算案件の縮小	(+)自動車業、通信業向け案件の増加 (+)検証サービス拡大 (+)デジタルサプライチェーン(SAP)案件の増加 (-)流通業向け案件の減少
金融IT	(+)銀行業、証券業向けシステム開発案件の拡大 (-)信販・リース業、生損保業向け案件縮小	(+)銀行業、証券業向け案件の寄与 (-)信販・リース業生損保業向け案件縮小	(+)証券業、銀行業向けシステム開発案件の拡大 (-)信販・リース業、生損保業向け案件の減少
ITソリューション	(-)BPOビジネスの公共案件縮小 (-)ProActiveインボイス関連の反動減	(-)BPOビジネスの公共案件縮小および構造改革費用 (-)ProActiveインボイス関連の反動減および事業強化コスト、但し、3Q期間の減益幅は縮小 (-)ソフトウェア資産の一部除却	(+)新規連結によるEC関連案件増加 (-)BPOビジネスの一部顧客の解約等

セグメント	売上高	営業利益	受注高・受注残高
ITプラットフォーム	(+)通信業の特定顧客向け機器販売の増加 (+)学術研究機関向けのハードウェア販売の積み上がり (+)通信・運輸業、金融業へのセキュリティ製品販売の増加		(+)通信業の特定顧客向け機器受注の増加 (+)自動車業向けハードウェア販売の増加 (-)大型ハードウェア販売の反動減 ネットワンシステムズ(株)受注残高を除く
IT マネジメント	(+)マネジメントサービスの増加 (+)ライセンス販売の増加	(+)マネジメントサービスの増加	(+)マネジメントサービスの需要増 (+)クラウドサービス案件の増加
その他	(+)SCSK Minoriソリューションズのシステム開発、保守案件増加 (+)SCSK Minoriソリューションズのシステム販売案件増加	(+)セールスマックスの改善	(+)SCSK Minoriソリューションズのシステム開発案件増加 (-)SCSK Minoriソリューションズのシステム販売案件減少

※(+):増加要因 (-):減少要因

25年3月期 通期 業績・配当予想

(単位:百万円)

	25年3月期 修正前予想(A)	25年3月期 修正予想(B)	増減額 (B-A)	増減率
売上高	510,000	596,000	86,000	16.9%
売上総利益	138,000	158,300	20,300	14.7%
売上総利益率	27.1%	26.6%	△0.5%	
販売管理費	△ 76,500	△ 90,800	△ 14,300	18.7%
その他収益及び費用	500	△ 1,000	△ 1,500	
営業利益	62,000	66,500	4,500	7.3%
営業利益率	12.2%	11.2%	△1.0%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	44,500	46,500	2,000	4.5%
1株当たり 年間配当金(円)	68.00	71.00	3.00	
配当性向	47.7%	47.7%		

※当第3四半期連結会計期間末において計上した資産及び負債の額については、識別可能資産及び負債を評価中であり、取得対価の配分が完了していないため、当該資産にかかる償却額等、損益に与える影響は含まれておりません。

25年3月期 通期 業績・配当予想（補足）

（単位：百万円）

	25年3月期 修正前予想(A)	25年3月期 修正予想			合計(B)	増減額 (B-A)	増減率
		SCSK	ネットワン システムズ	統合関連費 用			
売上高	510,000	525,000	71,000	0	596,000	86,000	16.9%
売上総利益	138,000	142,000	16,300	0	158,300	20,300	14.7%
売上総利益率	27.1%	27.0%	23.0%		26.6%	△0.5%	
販売管理費	△ 76,500	△ 79,000	△ 8,800	△ 3,000	△ 90,800	△ 14,300	18.7%
その他収益及び費用	500	△ 1,000	0	0	△ 1,000	△ 1,500	
営業利益	62,000	62,000	7,500	△ 3,000	66,500	4,500	7.3%
営業利益率	12.2%	11.8%	10.6%		11.2%	△1.0%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	44,500				46,500	2,000	4.5%
1株当たり 年間配当金(円)	68.00				71.00	3.00	
配当性向	47.7%				47.7%		

※当第3四半期連結会計期間末において計上した資産及び負債の額については、識別可能資産及び負債を評価中であり、取得対価の配分が完了していないため、当該資産にかかる償却額等、損益に与える影響は含まれておりません。

【3Q期間】

➤ 過去最高の売上高・営業利益の決算

- ✓ 全ての売上区分において、3Q期間は上期を上回る増収率
- ✓ 営業利益についても、増収による増益や不採算案件の改善を含むシステム開発の収益性向上によって、ほぼ前期並みの営業利益であった上期決算から、3Q期間は2桁の増益率

【通期見通し】

➤ 売上高+860億円、営業利益+45億円、当期利益+20億円 上方修正

- ✓ 売上高：
 - システム販売の需要増と、堅調に推移する検証サービス等によってSCSKの売上高を+150億円の増額
- ✓ 営業利益：
 - 増収効果の反面、販売管理費が想定比で増加した事、ソフトウェア資産の除却損を計上した事を踏まえ、SCSKの営業利益は期初想定値から変更なし
- ✓ ネットワンシステムズ(株)の第4四半期分の業績予想を取り込み、統合関連費用として約30億円を見込む

【配当】

➤ 1株当たり配当金を3円増配

- ✓ 年間の配当金は71円となり、連結配当性向は47.7%

Appendix

システム開発(下段:第3四半期期間)

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額	増減率
売上高	149,637	158,804	9,166	6.1%
	51,621	54,968	3,347	6.5%
受注高	151,514	160,148	8,634	5.7%
	47,325	50,898	3,573	7.5%
受注残高	48,378	* 52,430	4,052	8.4%

※ネットワンシステムズ(株)分、19,862百万円を除く

- 売上高
 - ・自動車業を始めとした製造業向け開発案件の増加
 - ・銀行業向けのシステム開発案件の増加
 - ・流通業向け案件の反動減
- 受注高・受注残高
 - ・自動車業界を中心とした製造業向け投資拡大
 - ・通信業向けのシステム開発案件の増加

保守運用・サービス(下段:第3四半期期間)

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額	増減率
売上高	139,997	150,463	10,465	7.5%
	47,679	52,475	4,796	10.1%
受注高	116,152	125,647	9,494	8.2%
	37,454	39,700	2,246	6.0%
受注残高	86,092	* 88,874	2,782	3.2%

※ネットワークシステムズ(株)分、41,147百万円を除く

- 売上高
 - ・BPOビジネスの反動減
 - ・検証サービスへの需要が堅調に推移
 - ・マネジメントサービスの増加
- 受注高・受注残高
 - ・BPOビジネスの反動減
 - ・検証サービス活況により増加
 - ・マネジメントサービスの増加

システム販売(下段:第3四半期期間)

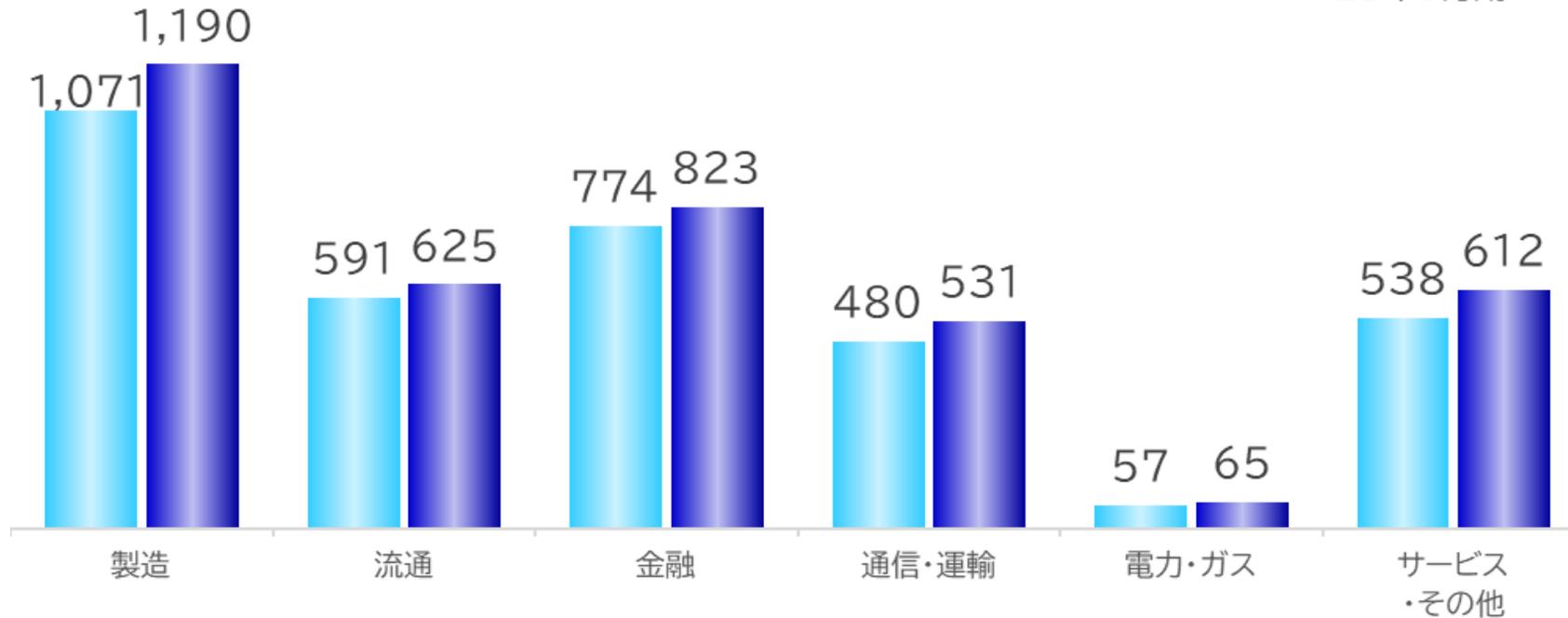
(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額	増減率
売上高	61,728	75,572	13,844	22.4%
	20,866	25,872	5,005	24.0%
受注高	62,623	84,395	21,772	34.8%
	21,569	31,711	10,141	47.0%
受注残高	27,626	* 31,625	3,998	14.5%

※ネットワンシステムズ(株)分、48,471百万円を除く

- 売上高
 - ・通信業の特定顧客向け機器販売の増加
 - ・ネットワーク製品や通信・運輸業、金融業向けセキュリティ製品の販売の増加
- 受注高
 - ・通信業の特定顧客向け機器販売の増加
 - ・通信・運輸業、金融業向けセキュリティ製品販売の増加
 - ・自動車業および学術研究機関向けハードウェア販売の増加
- 受注残高
 - ・自動車業および学術研究機関向けハードウェア販売の増加

■ 24年3月期 (単位:億円)
 ■ 25年3月期



- 製造業は、自動車業向け戦略投資および検証サービス、その他製造業向け開発案件等により増加
- 流通業は、基幹システム構築案件で反動減があったが、保守運用及びシステム販売により増加
- 金融業は、銀行業向け開発案件を中心に増加
- 通信・運輸業は、通信業の特定顧客向け機器販売および運輸業向けセキュリティ製品販売により増加
- 電力・ガス業は、電力業向けシステム開発案件にて増加
- サービス業・その他は、学術研究機関向けシステム販売等により増加

< 当資料利用上の留意点 >

- ・売上高前期比較(業種別)については、一部計上業種の見直しを行ったことにより、前年度の業種別売上金額を組み替えております。
- ・セグメント別業績については、当期にセグメント区分の変更を行っていることから、前年度の実績についても、変更後のセグメント区分に組み替えております。
- ・記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。また、%は、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

- 2025.01.28 SCSK、ファームバンキングの「AnserDATAPORT®接続サービス」が、ISO20022に準拠した外国送金業務に対応
- 2025.01.27 クラウド時代の通信品質向上へ-10Gbit/s対応 高精度帯域制御装置「PureFlow ASX」の販売開始
- 2025.01.20 Dropboxのファイルの自然言語検索機能を提供開始 ~「Smartdbx」の生成AIを活用した要約機能により、ファイル検索の時間を短縮~
- 2025.01.14 SCSKのオフリング型サービス「スマクラBDX」がNXワンビシアーカイブズの「WAN-Sign」と連携
~国内の電子契約の普及を目指し、「スマクラBDX」に電子契約機能を追加~
- 2024.12.19 ネットワンシステムズ株式会社(証券コード:7518)に対する公開買付けの結果及び子会社の異動に関するお知らせ
- 2024.12.16 データとAIの融合でビジネス変革を実現する「NebulaShift ai」の提供を開始
- 2024.12.09 SCSK、河村電器産業、Pixiiの三社が社会の脱炭素化実現に向けて業務提携協議に関する覚書を締結
~『分散エネルギー最適制御プラットフォーム(仮称)』を2025年度に提供開始へ~
- 2024.12.06 中央日本土地建物が脱炭素ソリューション「ZEBiT(ゼビット)」を初導入 ~既存オフィスビルのカーボンマネジメントに向けた実証を開始~
- 2024.12.03 オフリング型サービス「スマクラBDX 調達購買 Web」の提供開始 ~製造業のデジタルサプライチェーンを支援する標準EDIに準拠~
- 2024.12.02 日本初!札幌市発!『応援型』ふるさと納税で地域社会を活性化 ~SCSK×札幌市×北海道大学×札幌市立大学にて寄付受付を開始~
- 2024.11.28 SCSKと日本IBM、メインフレームを活用したハイブリッドクラウド・プラットフォームの提供に向け戦略的パートナーシップを締結
- 2024.11.27 SCSK、スリーシェイクと資本業務提携を締結 ~高度デジタル人材を育成し、顧客のDXの実現を強力に支援~
- 2024.11.26 HPEと「NVIDIA AI Computing by HPE」推進における国内初の戦略的協業を開始 ~HPEとのAI分野における連携を強化~
- 2024.11.19 SCSKがAIセントリックなデジタルオフリングサービスを提供 ~「PROACTIVE」オフリングシリーズで高度な経営判断×業務自動化を実現~
- 2024.11.18 SCSKとQuemixが量子コンピュータの社会実装に向けた研究開発の加速を目的に資本業務提携を締結
- 2024.11.14 LGBTQに関する取り組み指標「PRIDE指標」で最高位「ゴールド」を7年連続受賞
- 2024.11.07 SCSKの「PrimeTiaas」がテクマトリックスの「FastHelp5」と連携開始 ~マルチチャネルから応対通話記録と自動要約の連携でCXとEXを向上~
- 2024.11.06 ネットワンシステムズ株式会社との経営統合に向けた公開買付け開始を決定
~両社の経営統合により、社会課題に対して新たな価値を提供し、社会のデジタル化をリードする企業を目指す~
- 2024.11.06 ネットワンシステムズ株式会社(証券コード:7518)に対する公開買付けの開始及び資金の借入れに関するお知らせ

SCSK

夢ある未来を、共に創る。